

Title	第82巻(第1-4号特別号I, II)総目次：平成元年度
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1990
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.82, No.4 (1990. 1) ,p.1- 3
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19900101-0270

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三田学会雑誌 第82巻 (第1~4号) 総目次 (平成元年度)

論 説

	号	頁	通頁
明治末期における経済学研究と保護主義 ——河上肇の農業保護論と国民国家論を中心に——	飯田 鼎	1	1
日本の金融連関の解剖 (1)	浜田 文雅	1	20
Central Labour College, 1909年—1929年 (上) ——イギリスにおける労働者コレッジ運動と労働組合——	松村 高夫	1	37
変分不等式による競争均衡の存在証明	丸山 徹	1	55
土地問題と社会資本	大村 達弥	1	65
アメリカの軍事力増強と軍事支出増大の恒常化について ——NSC 68 のもつ意味——	延近 充	1	85
政策目標としての完全雇用政策についての一考察	川俣 雅弘	1	107
扇形作用素と Hahn-Banach の定理	立石 寛	1	118
リチャード・ウェイトリーの「交換の学」とその思想的背景 ——近代経済学における交換理論のミクロ的視点の萌芽——	中野 聡子	1	137
日本の金融連関の解剖 (2)	浜田 文雅	2	1
タフ・ヴェイル判決とイギリス鉄道労働運動 (Ⅲ)	松村 高夫	2	20
〈歴史犯罪学〉の成果と展望 (上) ——西欧における犯罪の社会史研究を中心に——	矢野 久	2	40
文久2年における三井横浜店の経営転換とその貿易金融展開の動向	石川 治夫	2	57
限界効用理論の歴史における Wieser の自然価値理論の意義について	川俣 雅弘	2	87
Ekeland の ϵ -変分原理とその応用	立石 寛	2	109
寡占市場における製品差別化行動の厚生分析——同時決定ゲーム——	石橋 孝次	2	131
ジュヴォンズの交換理論の再評価 I ——ワルラス均衡との関係——	中野 聡子	2	145
計量経済学における頑健推定 (1)	蓑谷千鳳彦	3	1
日本機械工業の社会的分業構造 (上) ——下請制研究の新たな視座を求めて——	渡辺 幸男	3	44
マルクスの剰余理論	寺出 道雄	3	63
日本の金融連関の解剖 (3)	浜田 文雅	3	78
Central Labour College, 1909年—1929年 (下) ——イギリスにおける労働者コレッジ運動と労働組合——	松村 高夫	3	93
名誉革命体制評価をめぐるヒュームとウォレス (Ⅲ)	坂本 達哉	3	118
〈歴史犯罪学〉の成果と展望 (下) ——西欧における犯罪の社会史研究を中心に——	矢野 久	3	144
ミニマックス定理に関する考察	小宮 英敏	3	163
Ekeland の ϵ -変分原理とその応用 II	立石 寛	3	169
ジュヴォンズの交換理論の再評価 II ——ヴィクセルの貨幣認識との関係——	中野 聡子	3	191
福地桜痴と福沢諭吉——『懐往事談』と『福翁自伝』をめぐる——	飯田 鼎	4	1
“戦後 IMF 体制の崩壊”と“1971年~74・5年”	井村喜代子	4	26
インフォーマルセクターにおける家計行動 ——主体的均衡理論と実証分析——	鳥居 泰彦 小保内弘子	4	50
計量経済学における頑健推定 (2)	蓑谷千鳳彦	4	73
タフ・ヴェイル判決とイギリス鉄道労働運動 (Ⅳ)	松村 高夫	4	124
日本機械工業の社会的分業構造 (下) ——下請制研究の新たな視座を求めて——	渡辺 幸男	4	151
装置の労働手段の現段階——「制御」を基軸にすえて——	渋井 康弘	4	174
「朝鮮産米増殖計画」における肥料の経済効果研究	朴 永九	4	195

研究ノート

大戦期ナチス・ドイツにおける『近代化』と『統合』問題……………矢野 久	1	164	164
——労働と社会に関する最近の研究史を中心に——			
イギリス産業革命期における生活水準論争再訪(上)……………松村 高夫	2	165	353
イギリス海外交易研究史……………堀 元子	2	185	373
「七三一」部隊の研究における中国研究者の動向について……………田中 明	3	207	619
——最近の中国に現れた研究の成果に寄せて——			
国際産業連関分析における基礎的問題……………池田 明由	3	217	629
——これまでの理論と実証のアプローチをめぐって——			
C.メンガーの「欲望」概念をめぐる一考察……………武藤 功	3	232	644
——カント『実践理性批判』と関わらしめて——			
工業化と外国資本——韓国繊維産業への直接投資——……………高梨 和紘	4	218	886
パートタイム労働にかんするイギリスの研究動向……………中村 伸子	4	232	900

書 評 論 文

アダム・スミス研究の新展開 田中正司『アダム・スミスの自然法学 スコットランド』……………水田 洋	2	198	386
啓蒙と経済学の生誕』			

批 判・応 答

アダム・スミス研究の模索主題——水田洋氏の批判に答える——……………田中 正司	4	248	916
寺出道雄「マルクスの剰余理論」：批判……………細田 衛士	4	255	923
「マルクスの剰余理論」応答……………寺出 道雄	4	258	926

書 評

小松隆二『大正自由人物語——望月桂とその周辺——』……………池田 信	1	177	177
佐々波揚子・浜口登・千田亮吉共著 『貿易調整のメカニズム：輸出入のミクロの基礎』……………浦田秀次郎	1	180	180
桜井毅『イギリス古典経済学の方法と課題』……………飯田 裕康	1	186	186
矢内原勝・深海博明・大山道広編著 『世界経済のニュー・フロンティア』……………川田 侃	2	206	394
島田晴雄著『ヒューマンウェアの経済学』……………仁田 道夫	2	210	398
磯野直秀著『モースその日その日：ある御雇教師と近代日本』……………杉浦 章介	2	214	402
八木紀一郎著『オーストリア経済思想史研究……………池田 幸弘	2	220	408
——中欧帝国と経済学者——			
白井厚著『社会思想史断章』……………土方 直史	3	248	660
岩田暁一著『先物とオプションの理論』……………吉田真理子	3	253	665
井上茂子・木畑和子・芝健介・永岑三千輝・矢野久著……………田村 栄子	4	263	931
『1939 ドイツ第三帝国と第二次世界大戦』			

福岡正夫教授退任記念論文集(82巻特別号-I)

		頁
献 辞……………神谷 傳造		1
	川又 邦雄	
有効需要原理と価格理論……………神谷 傳造		3
労働組合とマクロ経済……………大山 道広		24
税率の比例的変化の経済分析……………川又 邦雄		40
社会的無差別曲線の基礎……………長名 寛明		48
公共部門の短期および長期均衡分析……………山田 太門		71
無限次元空間における絶対連続函数の収束……………丸山 徹		89
床面積需要関数と質需要関数……………瀬古 美喜		105

経済発展と労働市場——タイの事例——	渡辺真知子	118
貨幣的生産経済における過少雇用均衡についての予備的考察	池田 高信	134
市場差別と不確実な重要	滝田 公一	153
金融政策の公表と市場効率性	酒井 良清	170
恒常状態における消費、成長、所得分配	細田 衛士	181
金融政策の有効性と資金循環	塩澤 修平	189
信用割当・長期貸出契約に関する理論的分析	竹島 正男	200
流動性制約と異時点資産選択モデル	伊藤 幹夫 大平 哲	215
公共経済における競争均衡のナッシュ解による実行可能について	中村 慎助	224
内生的景気循環とサン・スポット	須田 伸一	234
メンガー『国民経済学原理』の学史的位付けについて ——ロシアとの関係を中心に——	池田 幸弘	254
謝 辞	福岡 正夫	271
福岡正夫名誉教授略歴		272
福岡正夫名誉教授著作目録		274

中村勝己教授退任記念論文集（82巻特別号Ⅱ）

《西洋経済史・思想史》		頁
リチャード・バクスターにおける宗教と社会 ——『聖徒の永遠の憩い』を中心に——	今関 恒夫	1
近代の家族の形成とビューリタニズム	米山 秀	16
ロンドンにおけるユグノー亡命者の定住とその職業構成についての一試論	須永 隆	31
イギリス議会エンクローチャーにおける費用の調達 ——ウェストン・ターヴィル教区の研究——	重富 公生	54
アイルランド人季節移民と19世紀のイギリス農業	斎藤 英里	73
Charles Gairdner, 1824—1899	玉置 紀夫	91
ロマン主義の精神構造——シュミット『政治的ロマン主義』によせて——	藤山 宏	103
表現される歴史	寺尾 誠	118
《東洋および日本経済史・思想史》		
17～18世紀北インドにおける都城について	佐藤 正哲	136
近世都市の歴史人口学的観察——奈良東向北町：寛政5年～明治5年——	速水 融	156
ベアリング商会と日露戦時公債発行	鈴木 俊夫	176
太平洋戦争をめぐる	内山 秀夫	192
祓論ノート——平安京大祓の場の分析——	山本 幸司	203
水戸学藤田派農政論の認識と思想	小室 正紀	223
戸田家族理論の一つの理解の仕方——有賀・喜多野論争を手がかりとして——	坂井 達朗	241
宗教と国家——三谷隆正の政治思想——	柳父 園近	260
中村勝己名誉教授略歴		271
中村勝己名誉教授著作目録		272